

1課 あらかじめ味わったルデヤ（使徒16:15）
フォーラムしよう
「聖霊の導きの中での出会い」

序論の3つの祝福を味わっていると、ただキリストの中で生かして、生かされる出会いが与えられます。

パウロは、序論の3つ（プラットフォーム、物見の塔、アンテナ）を24時、いつも祈っていました。

そして、アジャに行くことを聖霊によって禁じられ、聖霊によってマケドニヤに導かれました。

マケドニヤの地方で第一の町ピリピに行きました。

そこでルデヤに出会いました。



パウロは熱心に伝道したのではありません。

ただ、祈りの中で聖霊の導きよって、ここでなにをするのかと祈りつつ、祈り場があると思われたところに行って、ルデヤに出会いました。

完全に神様の導き、聖霊の中での導きでした。

テアテラ市の紫布の商人で、神を敬う、ルデヤという女が聞いていたが、主は彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた。（16:14）

神様が備えられた神を敬うルデヤという人の心を神様が開かれました。

パウロもルデヤも、神様の導きの中での出会いでした。すべて神様がなさったのです。

聖書に出て来る人物を見るときは、その人物に焦点をあてるのではなく、神様が福音の流れの中で人々をどのように導かれたのか、福音の流れの中にいる人々を神様がどのように遣わされたのか、神様がなさったことに焦点をあてましょう。

ルデヤがすばらしかったのではありません。

神様がなさったのです。

聖霊の導きによって、神様が選ばれた人パウロが、アジャではなくマケドニヤのピリピに導かれてすでに備えてあった人との出会いを神様が与えてくださいました。



私たちにもいろいろな出会いがあります。

家族、親、兄弟姉妹も、聖霊の導きよって神様がなさったことです。

教会に通うようになったのも、牧師先生との出会い、いろいろな人との出会いは聖霊の導きの中の出会いであることをおぼえて、フォーラムしましょう。